

第 25 回全港湾青年対策交流集会に参加して

九州地方関門支部 小峠 椋

2025 年 2 月 22 日から 24 日にかけて第 25 回全港湾青年対策交流集会が愛知県豊橋市のホテルシーパレスにて開催されました。

まず初めに開会挨拶がおこなわれ鈴木委員長の挨拶などがありました。

そして日程確認を行い中央本部オルグ「全港湾の歴史」を鈴木中央執行委員長におこなってもらいました。

講義の内容としては全港湾の結成、革新荷役の話など資料を参照しながらおこないました。

1 時間という短い時間でしたがとてもわかりやすく簡潔に講義をしてくださりました。

そしてその後分散会がおこなわれ、夕食懇親会があり 1 日目は終了しました。

2 日目は中央本部オルグ「全港湾青年部の歴史とこれからの全港湾について」を松永中央書記長におこなってもらいました。

講義の内容としては、まず初めに軽い自己紹介があり、そして当時の青年部の話、昔の青年部は色々な活動レクリエーションなどを積極的におこなっておりとても活気があったなど色々な話をしてくれました。

その後分散会があり、昼食休憩後にはオルグに対しての質疑が行われました。

質疑の内容としては、なぜ青年部ができたのか、昔はどうやって人材確保などを行っていたのかなどさまざまな質疑がありました。

返答としては、なぜ青年部ができたのかについては将来を担う人材の育成のためにできたと返答がありました。

そのあと「青年部活動について」の分散会が行われレクリエーションではドッチボールを行い、

夕食懇親会があり 2 日目は終了しました。

3 日目は昨日の分散会の発表がありました

今年の青年部スローガンの発表があり今年度は関西地方の吉田さんの「全員が主役に！団結を力に！」がみんなの投票の結果採用されました。

最後に中央本部総括があり団結頑張ろうで第 25 回全港湾青年対策交流集会が終了しました。

全体をとうしての感想ですが、僕自身昨年につき 2 回目の参加でした。

今回中央本部のオルグをうけて感じた事としては全港湾の歴史では戦後から今までの事で知らない事も多くまだまだ勉強不足でわからない、知らない事も多く無知ではいけないと思いました。青年部の歴史では、まず全国の事を知る前に自分の支部の青年部の歴史を知る事、青年部の悩みは今も昔も変わらない事を学びました。

夕食懇親会では全国の仲間たちとお酒を酌み交わし、前に出て歌を歌うなどとても楽しく有意義な時間が過ごせ、部屋飲みでも夜遅くまで仲間たちと素晴らしい時間を過ごせました。

今回学んだ事を活かし、今後の青年部の活動の糧として頑張っていこうと思いました。